

●想定される課題と、各サービスの有効性について

背景	課題	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	対応策の中で求められる要素
		コミュニティバス導入	既存公共交通に対する補助の拡大	A Iデマンド交通導入	公共交通補助制度	グリーンスローモビリティの導入	シェアサイクル・シェアモビリティの導入・拡大	ライドシェアサービスの導入	路線バス委託化	既存交通ネットワークの活用	
人口減少 2024年問題	補助路線の維持困難	○	○	○	○				◎		対象路線沿線の移動利便性の維持
	既存路線バスの減便	◎	○	○	○	○				○	
	既存路線バスの廃止	○		○		○			◎		
	利用者数の減少	○	◎	○	○						
高齢化社会の進行	買い物・通院などの生活移動での、公共交通サービスの必要性向上	◎		○	○	○		○		○	日中の時間帯の主要施設アクセス確保
	免許返納者の増加に伴う、自家用車移動の代替手段の確保	○		◎	◎	○		○		○	一定の自由度を有する輸送手段の確保
	バリアフリーへの対応	○		○	○	◎					車いす対応、低床車などの導入
既存施策の利用状況	公共交通補助制度タクシー利用の増加	○		◎	○						既存路線バスの利用圏域外を主な対象とした輸送体制の整備
まちづくり施策への対応	拠点施設間をつなぐ移動手段の確保	◎		○	○		○		○		町内の各主要施設を繋ぐ移動手段の確保
	(仮称)地域活性化発信交流拠点	◎		○		○	○			○	日中の時間帯を中心とした町内各地域からのアクセス確保
	観光振興に向けた拠点アクセス確保	◎		○	○	○	○			○	交通結節点(鉄道駅)から観光拠点へのアクセス整備
	必要十分な福祉移動の確保	○		○	○						自宅またはその近隣から利用できる交通サービスの整備
	統廃合など、学校再編への対応	◎		○						○	朝の大型輸送、日中・夕方の複数便運行による輸送の確保
既存輸送サービスへの対応	物価・燃料費高騰、利用者減少などによる送迎サービスの維持困難	◎								○	
技術革新	次世代技術の実用化・普及	○				◎					最新技術との親和性のある交通サービスでの導入
	新エネルギー車(電気自動車等)の導入	○								◎	

◎:最適導入候補 ○:導入候補